

# 岩手県職労

月2回刊=1533号  
2019年5月30日 発行  
発行日 毎月15日30日  
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合 印刷所 盛岡市上田二丁目17-4 有限会社 ジロー印刷企画 一部 40円  
組合員購読料は組合費に含む

## 県職連合第26回・県職労第122回定期大会

### 運動方針のポイント

# 職場を基軸に組合員主役の取り組みの強化を

## 盛岡市議選・組織内「野中やすし」必勝に全力

6月1日開催の定期大会は、職場からの運動を基軸とし、賃金・労働条件改善、人員確保等の職場改善を組合員全員の行動のもと果敢に取り組み、評協議会組織の強化と闘争サイクル構築による職域課題の改善、そのための運動の基盤となる組織の更なる拡大に全力を挙げる。さらに、地方自治確立に向け盛岡市議選・組織内「野中やすし」をはじめ、参議院選挙・県議会議員選挙等の各級選挙での推薦議員の必勝に全力を挙げるという運動方針(案)を提起する。

### ①組織強化

【支部の運動強化】 闘争期や支部独自要求、組織強化

のため、役員育成に向けた本部の支援体制を強化する。【組織拡大と青年層の育成】



▲昨年の第120回定期大会

新採用者全員加入のため、分会単位での集まりを開催し、継続的な声かけにより早期加入に取り組む。青年婦人部の役員育成に向け、学習・交流の強化など支援体制を構築する。

### ②賃金・労働条件改善

【賃金改善】 6年連続の確実な賃上げとともに、本年4月から給与制度の総合的見直しの現給保障が終了したこともあり、中高年齢職員の賃金改善は急務。昇給・昇格運用の改善による生涯賃金確保を基軸とした賃金闘争を構築していく。併せて、若年層における民間給与との格差解消に向けた初任給改善をはじめ、全

世代の勤務意欲が確保できる賃金改善を求めていく。【専門職種の処遇改善】 医師・薬剤師の初任給引上げが実現するも、依然として専門職種の人材確保が困難であり、諸手当(初任給調整手当等)の改善を求めていく。【諸手当改善】 自己負担解消のための手当改善を引き続き求める。継続課題である、交通用具利用の70キロメートル以上の距離区分新設、高速道路、交通機関を併用する場合の駐車場料金の手当支給対象、ガソリン価格の高騰に即応した手当改善、住居手当の改善、特殊勤務手当の改善を求める。

### ③職場改善

【長時間労働是正】 4月導入の超勤上限規定・客観的な勤務時間把握の導入状況を点検するとともに、少なくとも原則の超勤上限に収まる職場環境の実現に向けて、人員確保を含めた改善を求めていく。併せて、超勤上限等の運用改善も求めていく。適正な勤務時間管理の徹底と超過勤務予算の確保と適正配分を当局に求めるとともに、36協定締結の職場における協定締結の意義の学習の強化と協定を遵守させる運動に取り組む。

### ④生命と権利を守る取り組み

【人事異動対策】 早期内示

退職後が楽しみだ  
退職後は月々1口3000円から掛金を積み立てて退職後の「年金」「医療」「介護」給付を退職する時に選択  
お祝い金やお祝い金も組合へ  
じろうの長期共済  
自治労共済本部

### ⑤政治闘争

【住環境の改善】 公舎の老朽化や沿岸部の住居確保が困難なことから、住環境の確保等を強く求める。【平和運動】 安倍政権の改憲を断固許さず、憲法が保障する生存権などの諸権利を社会に浸透させ、暮らしに活かす運動を推進していく。平和環境センターなどと連携して反原発などの

## 第1回職員安全管理委員会

### 7月から県立施設敷地内「全面禁煙へ」

#### 県職労・対応策提示を条件に了承

5月15日、第1回職員安全管理委員会を開催し、当局提案となる健康増進法の一部改正を理由とした、「7月から県立施設敷地内における敷地内全面禁煙の方針」について議論した。県職労は、「一定の喫煙者が存在する以上、単に敷地内全面禁煙しただけでは根本的な改善とならない」、「広大な敷地を有する単独公所で一律全面禁煙するのは過度であり、地域の状況

に合った柔軟な対応が必要」などの点について主張し、受動喫煙防止の趣旨には理解しつつも、喫煙者への配慮も必要と訴え、喫煙者而非喫煙者がお互いに共存できる環境づくりが必要と対策を求めた。しかし当局は「受動喫煙防止対策は県が率先して対策を講じる必要がある」とし、県庁をはじめ各公所で「特定屋外喫煙場所」の整備に否定的な見解を繰り返した。県職労から「敷地内全面禁煙となったとしても、喫煙者はなくならない。喫煙したい人はどうすればいいか同時に対策を示すべきであり、段階的実施も検討を」と主張した。これを受け総務部長(総括安全管理者)から「方針どおり進めさせていたが、意見を踏まえ、様々検討し対応する」との回答を引き出したことから、対応策を示すことを条件に了承した。今後、各地区衛生委員会でも同様の議論が想定される。しっかりと議論を重ね、地域の実情に応じた対策を講じるよう求めよう。

した。県職労から「敷地内全面禁煙となったとしても、喫煙者はなくならない。喫煙したい人はどうすればいいか同時に対策を示すべきであり、段階的実施も検討を」と主張した。これを受け総務部長(総括安全管理者)から「方針どおり進めさせていたが、意見を踏まえ、様々検討し対応する」との回答を引き出したことから、対応策を示すことを条件に了承した。今後、各地区衛生委員会でも同様の議論が想定される。しっかりと議論を重ね、地域の実情に応じた対策を講じるよう求めよう。

“くみあい”だからできる助け合い  
組合員と家族の生活を守る!!

活用しよう

### 『じろうセット共済&遺族付加年金共済あとおし』

- ◆じろうセット共済 「ライフステージ」に応じて見直しができます。30歳以下の組合員は、「若年層型」がおすすめ(月額2,540円) 長期共済の利用で退職後に備えましょう 火災共済・自然災害共済で火災・災害への備えを
- ◆遺族付加年金共済あとおし 死亡・高度障がい時の家族の生活を保障します 月額保険料1,000円以下の「Eコース」もおすすめ
- ◆募集期限：支部毎に期限を設定。

最終申込は6月14日(金)まで

## 第五世代

今年のゴール デンウィークは10連休となり、全国の観光地も賑わった。県職員の中には連休中に勤務日もあり、「働き方改革」の法施行を

実感できるまでは時間がかかる。6月は休日が土日だけ。年次休暇を取り意識的に「リフレッシュ」を図り元気を保ちたい。自治体の仕事は政府の影響を受ける。千葉県野田市で小学4年生の女の子が死亡した事件を受けて、安倍総理大臣は、児童相談所などが把握している虐待が疑われるすべてのケースについて、1か月以内の調査を指示した結果、本県の担当者は対応に追われた。政府は調査のため、自ら現場に向くことは少なく、働く人の実態は上の空。さらに外国人技能実習制度が4月から施行された。外国人労働者のトラブルが発生すると、地方自治体に相談がくるだろう。地方自治体は新たな対応も発生してくる。地方自治体で働く我々が政治に無関心でも無関係とはならない。財務省が、財政制度等審議会分科会で、地方自治体の職員数を2025年に約3万人減らせるとの試算を提示した。全国の地方自治を問われている。参議院選挙では地方自治を考え投票にいきよう。

# 2019参院選・統一選に向け総決起集会

## 憲法活かした政治にチェンジを

5月25日、平和環境県センター「5・25県民集会」が岩手教育会館で開催され、300人が結集。野党候補として参院選岩手選挙区立候補予定「横沢たかのり」と社民党比例候補予定「仲村みお」さんが政策を訴えた。



▲参院選挙勝利へ平和環境県センターが総決起集会

今回はルーキーからベテランまで国政、私たちの未来について学ぶ・知る・考えるをテーマとして青年組合員が主体となって対談形式で行われた(全体進行を担うファシリテーターは中川理恵(県職労)さん)。対談のテーマは、「平和な世界とノーマライゼーションの社会をめざして」。



▲パネル形式による討論会の様子(左から二人目が仲村みおさん、三人目が横沢たかのりさん)

「横沢たかのり」さんは、「自分はモトクロスの練習中に不幸にして障がい者となった。しかし自分の視野は広がった。障がい者が共に働き、生きる社会はみんなにとって暮らしやすい社会であり、社会参加の実現をめざしていく」と決意を表明した。仲村さんは、「辺野古新基地建設を巡り、沖縄では青年が主役となって新基地建設阻

止の運動を作り、2月には県民投票が実現した。辺野古新基地建設では軟弱地盤が確認されるなど、基地建設が不可能であるにもかかわらず、安倍政権は民意を無視して強行している。沖縄の民主主義を日本に広げるため、憲法に根差した政治を取り戻したい」と訴えた。青年からは、教育現場では教職員の多忙化が解消されておらず、教職員の増員が必要であること等の職場課題を訴えた。横沢さんは、現場の声を届けていく、政治バランスが崩れているのが現状であり、例えば安倍政権が米国から購入している戦闘機1機でバリアフリー

バス650台分に相当するとし、暮らしのための政治に替える必要があると訴えた。仲村さんは、「教育費はOECD諸国で最低レベルも、米国から武器を大量購入している政府の姿勢は問題。この30年で公的支出は減らされ、官から民へと規制緩和が強行され、自己責任の社会となった。先の国会でも水道を民間運営に委ねる水道法も改悪された。今こそ公共の立て直しをし、連帯できる社会にしていく必要がある。安倍政権を退陣に追い込み、政治を変える運動を作っていく必要がある」とし、参院選挙での社民党の躍進を訴えた。

### コラム④

## 実質賃金・前年同月比マイナス2.5%に

### 労働者の賃上げで暮らしを守ろう

組合員の皆様、日々のお仕事、お疲れ様です。最近のマスコミは、「衆参ダブル選挙」の報道が目立ってきました。今回の参議院選挙では二つの課題があると思います。第一の課題は「国民のくらしを守る」ことであり、

第二には「憲法を守る」という課題です。初めに「国民のくらしを守る」という課題について述べます。そこで、国民のくらしを支える「労働者の賃金」について調べてみました。厚生労働省が五月に発表

盛岡市議選組織内予定候補者 野中やすし

した「毎月勤労統計」では、今年三月の実質賃金が前年同月比マイナス二・五%で、三か月連続マイナスだったことが明らかになりました。安倍政権は、十月に「消費税」を十%に引き上げる方針ですが、労働者の賃金が低下し続けている中で、とんでもない話です。日本の景気は、GDPの約六割を占めている「個人消費」に左右されます。今、上げるべきは「消費



▲青山地区で行われた「野中やすし懇談会」の様子

税」ではありません。「労働者の賃金」こそ上げるべきです。



▲参院選岩手選挙区・野党統一予定候補の横沢たかのりさん

## 胆江・北上支部が新体制を確立

### 胆江・長沼支部長、北上・佐藤支部長

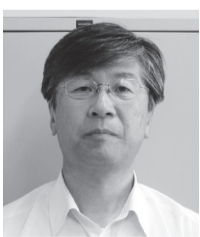
県職労胆江支部は5月17日、北上支部が5月20日それぞれ新体制を確立した。胆江支部長には長沼英友さん(土木部分会)が再選、北上支部長には佐藤洋さん(農村整備センター分會)が新支部長として選出され支部活動をスタートした。



長沼支部長

役職・氏名は次の通り。  
胆江支部 支部長 長沼 英友(土木部)

- 副支部長 工藤 謙二(総務・審査指導監)
- 書記次長 星川 信(総務・審査指導監)
- 執行委員 馬場 淳一(農政部・農村整備室)
- 赤崎 雅之(県税部)
- 八重樫晴央(保健福祉環境部)
- 阿部 修一(林務部)
- 増田 隆晴(奥州農業改良普及センター)
- 渡邊 嘉紀(農政部)
- 会計監事 坂本 伸也(経営企画部)
- 木村 裕子(奥南畜産保健衛生所)



佐藤支部長

北上支部 支部長 佐藤 洋(農村整備センター)

副支部長 島 輝夫(農研センター)

書記次長 高橋 司(中部農業改良普及センター)

執行委員 佐々木 直(農業大学校)

中里 崇(農業大学校)

八重樫富男(北上土木センター)

高木 保志(農研センター・経営企画部)

内藤 善美(農研センター・農技術研発部)

遠藤 歩美(農研センター・病害虫防除所)

参院選・社民党比例代表予定候補者

# 吉田ただとも

平和憲法を守り、暮らしに活かす政治の実現をめざします!!

田村 嘉伸(保健福祉環境センター) 会計監事  
守谷 康(北上土木センター) 和賀 佳子(生物工学研究センター)

「笑顔を繋げたい!」復興支援のカタチ

# 2019年 東北ろっきん・サマーキャンペーン

6/1(土) ▶ 7/31(水)

抽選で 2,500 名様に 対象取引のいずれかをご利用いただいた方に 復興支援オリジナル 『カタログギフト』プレゼント!! (1,500円相当)

対象取引

- ①ふれ愛預金(5万円以上の新規お預入れ、または増額書替)
- ②定期預金(5万円以上の新規お預入れ、または増額書替)
- ③カードローン「マイプラン」(新規ご契約)
- ④無担保ローン(「マイカーローン」「無担保住宅ローン」「教育ローン」「フリーローン」のいずれか新規ご契約)

※ATMでのお取引も対象となります。※キャンペーンのプレゼントは、個人のお客様が対象となります。※プレゼントはお一人様1つとさせていただきます。※対象の商品概要については店頭で説明書を用意しております。※詳しくはお近くのろっきん窓口にお問い合わせください。